安全データシート

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
0.0	00.00.0000	100000033302	初回作成日: 06.03.2024

1. 化学品及び会社情報

製品識別名

製品名 : THERMOLAST® K

製品コード : TC4CSN

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : ゴム製品の製造
配合および加工を含むプラスチック製品の製造
その他

使用上の制限 : 工業用のみ。

供給者情報

会社名 : KRAIBURG TPE TECHNOLOGY (M) SDN BHD

住所 : Lot 1839, Jalan KPB 6, Kawasan Perindustrian Balakong
43300 Seri Kembangan, Selangor, Malaysia

電話番号 : +60395456393

緊急連絡電話番号 : +60 3 9545 6393（オフィスタイムのみご利用いただけます）

電子メールアドレス : sds.apac@kraiburg-tpe.com

会社名 : KRAIBURG TPE GmbH & Co. KG

住所 : Friedrich-Schmidt-Str. 2
84478 Waldkraiburg

電話番号 : +49863898100

電子メールアドレス : sds.emea@kraiburg-tpe.com

会社名 : KRAIBURG TPE CORPORATION

住所 : 4365 Hamilton Mill Rd.
Buford GA 35608

電話番号 : +1(678)584-5020

電子メールアドレス : sds.amer@kraiburg-tpe.com

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

危険な物質や混合物ではありません。

ＧＨＳラベル要素

危険な物質や混合物ではありません。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：　混合物

成分

危険有害成分ではない

4. 応急措置

一般的アドバイス	：	被災者を一人にしない。
吸入した場合	：	意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。 症状が持続する場合は、医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	：	溶融物に接触したら、冷水で皮膚を急速に冷やす。 凝固した物質を皮膚から剥離してはならない。
眼に入った場合	：	コンタクトレンズをはずす。 損傷していない眼を保護する。 眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
飲み込んだ場合	：	気道を確保する。 ミルクやアルコール飲料を与えない。 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 症状が持続する場合は、医師に連絡する。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	：	知見なし。
医師に対する特別な注意事項	：	症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

消火剤

化学物質から生じる物理化学的危険性

有害燃焼副産物　：　有害燃焼生成物は知られていない。

消防士向けの特殊な保護装置と注意事項

消火を行う者の保護	:	消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。
特有の消火方法	:	化学物質の火災に対する標準手順。 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項	:	河川または下水システムに排水しない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	:	すくい取るか掃き集める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全な取扱いのための予防措置

火災及び爆発の予防	:	標準的な防火方法。
安全取扱注意事項	:	個人保護については項目 8 を参照する。 作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。

保管

配合禁忌等を踏まえた保管条件

安全な保管条件	:	電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
混触禁止物質	:	特に言及するべき物質は無し。
保管安定性に関する詳しい情報	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

個人用保護具など、個々の保護対策

眼／顔面の保護	:	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	:	ユニフォームもしくは実験室用コートを着用しましょう。
呼吸用保護具	:	通常、呼吸用保護具は必要ない。
衛生対策	:	作業上の一般的な注意事項を守る。

9. 物理的及び化学的性質

外観	:	粒状

色	:	いろいろ
臭い	:	強くはない
臭いのしきい(閾)値	:	データなし
pH	:	物質/混合物は（水に対して）不溶性です
融点/ 範囲	:	データなし
沸点／沸騰範囲	:	分解
引火点	:	データなし
蒸発速度	:	データなし
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	:	爆発範囲の上限 データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	:	爆発範囲の下限 データなし
相対ガス密度	:	データなし
比重	:	データなし
密度	:	0.9 - 1,5 g/cm3
溶解度		
水溶性	:	実質的に水に不溶
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	:	非該当
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
粘度		
動粘度（動粘性率）	:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
危険有害反応可能性	:	推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。

避けるべき条件 : データなし
混触危険物質 : 非該当

11. 有害性情報

可能性のある暴露経路の情報 : 知見なし。

急性毒性
利用可能な情報に基づく限り分類できない。

皮膚腐食性／刺激性
利用可能な情報に基づく限り分類できない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性
利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性
利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性
利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性
利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性
利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）
利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）
利用可能な情報に基づく限り分類できない。

誤えん有害性
利用可能な情報に基づく限り分類できない。

詳細情報

製品:
備考 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

他の有害影響

製品:

生態系に関する追加情報 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）

供給された状態の製品には非該当。

特別の安全対策

非該当

15. 適用法令

有害化学物質固有の安全、衛生、環境規制

労働安全衛生規則（有害化学物質の分類、表示および安全データシート）2013 年。
労働安全衛生規則（健康に有害な化学物質の使用と暴露の基準）2000 年。

16. その他の情報

改訂日 : 00.00.0000
日付フォーマット : 日.月.年

その他の略語の全文

AIIC – オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT – ブラジル国家輸送機関; ASTM – 米国材料試験協会; bw – 体重; CMR – 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN – ドイツ規格協会基準; DSL – 国内物質リスト（カナダ); ECx – 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx – 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS – 緊急時のスケジュール; ENCS – 化審法の既存化学物質リスト; ErCx – 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG – 緊急対応の手引き; GHS – 世界調和システム; GLP – 試験実施規範; IARC – 国際がん研究機関; IATA – 国際航空運送協会; IBC – 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 – 50%阻害濃度; ICAO – 国際民間航空機関; IECSC – 中国現有化学物質名録; IMDG – 国際海上危険物規程; IMO – 国際海事機関; ISHL – 労働安全衛生法(日本); ISO – 国際標準化機構; KECI – 韓国既存化学物質名録; LC50 – 50%致死濃度; LD50 – 50%致死量（半数致死量）; MARPOL – 船舶による汚染の防止のための国際条約; n.o.s. – 他に品名が明示されているものを除く; Nch – チリ規則; NO(A)EC – 無有害性影響濃度; NO(A)EL – 無有害性影響レベル; NOELR – 無有害性影響負荷割合; NOM – メキシコ公式規則; NTP – 米国国家毒性プログラム; NZIoC – ニュージーランド化学物質台帳; OECD – 経済協力開発機構; OPPTS – 化学物質安全性・公害防止局; PBT – 難分解性性・生体蓄積性・有毒性(物質）; PICCS – フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR – （定量的）構造活性相関; REACH – 化学物質の登録、評価、認 可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT – 自己加速分解温度; SDS – 安全データシート; TECI – タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI – 台湾化学物質インベントリー; TDG – 危険物輸送; TSCA – 有害物質規制法(米国); UN – 国連; UNRTDG – 国際連合危険物輸送勧告; vPvB – 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS – 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のﾃﾞｰﾀはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

MY / JA